

## 別紙

### シャープ株式会社 電子デバイス事業本部 福山工場 温室効果ガス削減実施状況報告書

#### 1 事業の概要

##### (1) 事業所の名称

シャープ株式会社 電子デバイス事業本部 福山工場

##### (2) 事業所の所在地

広島県福山市大門町旭1番地

##### (3) 業種

2814 集積回路製造業

#### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成12(2000)年度を基準年度とし、平成23(2011)年度から平成26(2014)年度までの4年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況  
 《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量(a)	目標年度 上段：見込量(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成12年度	平成26年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	182,712	159,000 -13%	89,947 50.8%				
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類	374,921	112,000 -70%	20,372 94.6%				
温室効果ガス 実排出量総計	557,633	271,000 -51%	110,319 80.2%				
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	平成23年度の使用量実績は、震災等の影響も有り、エネルギー起源CO <sub>2</sub> 、フロン類とも大幅減となっています（排出抑制取組みは、計画通り推進）。 尚、電力のCO <sub>2</sub> 排出量については、「温室効果ガス排出量計算表（平成23年2月版）」の全国共通の排出係数（0.555tCO <sub>2</sub> /千kWh）を使用し算出しています。						

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：実質売上高（百万円）

温室効果ガスの種類	基準年度の実績(a)	目標年度 上段：目標(b) 下段：削減率(c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比(e))				
	平成22年度	平成 年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位（原油換 算kl）	0.3597		0.2548 29.2%				
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量の削減	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量： 平成12年度比 13%削減	ファシリティの高効率機器への入替、 生産設備のエネルギー効率改善 他
2	PFC等排出量の 削減	PFC等排出量： 平成12年度比 70%削減	温暖化影響の小さいガスへの代替化 継続、PFC等ガスの分解装置導入、 PFC等ガス使用の少ない製造品 (プロセス) への変更 他
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	環境負荷低減活動の推進 ・廃棄物の排出量削減	—	生産設備での薬液使用量低減/排水 処理設備での使用薬品の管理強化/ システムの安定化等によるスラッジの 減量化 他
2	環境負荷低減活動の推進 ・化学物質の適正管理と 排出量削減	—	使用化学物質の把握と新規化学物質の 適切な導入判断実施 他
3	環境配慮型商品の 普及拡大	—	グリーンデバイス拡大 (デバイスの省電力化 等)
4	その他 ・社内教育、啓発の充実 ・社外コミュニケーション /社会貢献活動の推進	—	従業員への定期的な環境教育の実施、 地域学校からの工場見学、環境教育会 の受け入れ、地域清掃、植樹活動等 ボランティア活動への参画、 環境技術（排水、排気処理技術 等）の 開発/実用化 他

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。